



妙寺小学校との交流 (学校間連携)

2月2日(木)学校間連携で地域を活性化したいとの生徒の思いから、生徒会役員と有志ダンスグループが妙寺小学校を訪問しました。3年生、6年生とそれぞれダンスやゲームで交流し楽しい一時を過ごしました。笠田高校は地域とつながりつつあぎ町の活性化に積極的に取り組んでいきます。これからもどうぞよろしくお祈いします。



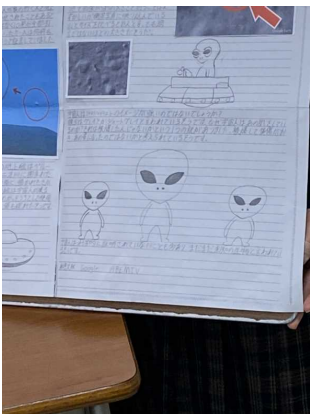
ドローンでプログラミング学習



2月3日(金)笠田高校商業科2年生がドローンを使ったプログラミング学習に取り組みました。講師先生は和歌山IT教育機関の物づくりマイスター岡田政彦先生です。PCで設定した通りにドローンを飛ばし、その基本をもとに生徒が工夫したプログラムでドローンの動きを制御します。プログラミングの成果を視覚的に確認できるので大変楽しい授業となりました。笠田高校商業科では、プログラミングの授業にも積極的に取り組んでいます。

1年生「総合的な探究の時間」

2月8日(水)1年生の「総合的な探究の時間」では発表会を行いました。それぞれ自分の興味関心で探究するテーマを設定しレポートを作成、それをポスターセッション形式で発表します。日頃の友人とはいえ、自分のレポートを発表するとなるとどうしても緊張します。しかしこの緊張の経験が今後の生活できっと役に立ちます。ちょっと面白いテーマとしては宇宙人を研究したレポートがありました。宇宙はこんなに広いのですからきっとどこかに宇宙人は存在しているのでしょう。



和歌山軽音フェス

2月11日(土)和歌山軽音フェスに笠田高校ギター部が参加しました。和歌山県民文化会館小ホールを舞台に和歌山県の高校が多数参加しています。総合司会はウインズの平阪さんです。笠田高校も3人組の2年生バンドが演奏しました。最近ギター部はずいぶん活動の幅を広げ活躍しています。



令和4年度笠田高校卒業証書授与式



3月1日(水)青雲はるかながなる佳き日に令和4年度和歌山県立笠田高等学校卒業証書授与式が行われました。野川校長は式辞で卒業生にはなむけの2つの言葉を送りました。

一つは「常に心のレジリエンスを」。レジリエンスとは、「ストレスに対応し、回復する」という意味の心理学用語です。人生、すべて自分の思うとおりうまくいくということはありません。すべてはトライ&エラー、挑戦と失敗です。失敗は無駄ではありません。困難にぶつかっても、しなやかに回復し、乗り越える力、立ち直るしなやかさ、「心のレジリエンス」を身につけてほしいと思います。高い志を持ち、自分らしくしなやかに人生を歩んでください。

もう一つは「恩送り」。縁あって私たちはこの笠田高校で出会いました。担任の先生や部活動の先生、教科担当の先生、クラスメートや先輩、後輩たちと出会いました。家族、友だち、地域の方々等、多くの人に支えられ、助けられ、たくさんの恩を受けてあなたたちが存在しています。直接、恩を受けた人に何らかの形でお返しする「恩返し」ではなく、自分が受け取った思いやりある行為を関係のない第三者に受け渡していく、それが「恩送り」。「恩のバトンリレー」です。自分が今までに受けたご恩を誰かに渡し、送ることで、これから皆さんが出会う人が笑顔になったり、元気になったり、幸せになったり…他の誰かの役に立つことができるのです。「恩返し」ではなく、「恩送り」のできる社会人になって、地域を元気にしてもらいたいと心から願います。卒業生の皆さん「レジリエンス」と「恩送り」を実践し、しっかりと自分の足でそれぞれの道を歩んでください。卒業おめでとうございます。

